

議会だより



令和5年
第150号
6月議会

7月23日発行



…… も く じ ……

5月臨時議会 ……	P 2	議員表決結果報告 ……	P 6
6月定例会 ……	P 3	一般質問……………	P 8
開会中の常任委員会	P 4	閉会中の常任委員会	P20
一般会計補正予算 ……	P 5	議員全員協議会 ……	P23

【湯沢町公式LINEのご案内】

湯沢町の公式LINEが始まりました。
災害情報や子育て情報、イベント情報、ゴミ出し通知機能などがLINEで確認できます。こちらご活用ください。



【令和5年6月定例会の動画視聴】

6月13日から21日までの定例会や一般質問をインターネットを通じて視聴ができます。ライブ配信もしていますが、当日の動画を録画し、視聴ができるようになります。この機会にご覧ください。



5月臨時議会

5月10日

湯沢町税条例の一部を改正（専決処分）

地方税法等の一部を改正に伴い、湯沢町税条例の一部を改正。

賛成全員 ↓ 承認

湯沢町国民健康保険税条例の一部改正（専決処分）

地方税法等の一部を改正に伴い、湯沢町国民健康保険税条例の一部を改正。

賛成全員 ↓ 承認

湯沢町介護保険条例の一部改正（専決処分）

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者に対する介護保険料減免の対象期間を延長するため、湯沢町介護保険条例の一部を改正。

賛成全員 ↓ 承認

令和4年度一般会計補正予算（第11号）（専決処分）の承認

歳入歳出それぞれ1億366万5,000円を追加し、予算の総額を

95億729万4,000円とする。

賛成全員 ↓ 可決

令和4年度介護保険特別会計補正予算（第4号）（専決処分）

歳入歳出それぞれ4,624万2,000円を減額し、予算の総額を8億8,583万5,000円とする。

賛成全員 ↓ 可決

西山源泉掘削工事請負契約の締結

西山源泉において必要な湯量を確保するために実施する西山源泉掘削工事請負契約の締結。

契約金額：

9,826万6,300円

請負者：ドリコ(株)

賛成全員 ↓ 可決

主水公園整備工事請負契約の締結

主水公園区域変更に伴う公園の新設及び改修整備を実施する主水公園整備工事請負契約の締結。

契約金額：7,898万円

請負者：(株)湯沢重機建設

賛成全員 ↓ 可決

雪国館改修工事請負工事の締結

老朽化したエレベーターの入替え

及び施設のバリアフリー化などを実施する雪国館改修工事請負契約の締結。

契約金額：1億4,300万円

請負者：(株)森下組

賛成全員 ↓ 可決

ロータリ除雪車（2.2m級）購入契約の締結

老朽化が進んでいる現有車両を入れ替えるためのロータリ除雪車購入契約の締結。

数量：1台

購入金額：6,028万円

購入先：(株)コバリキ

賛成全員 ↓ 可決

湯沢町公共下水道湯沢浄化センターの再構築工事委託に関する協定の締結

湯沢町公共下水道ストックマネジ

メント実施計画に基づき、湯沢浄化センターの老朽化した施設の更新工事を日本下水道事業団に委託する協定について、湯沢町議会の議決に付

すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により議会の議決を求めるもの。

委託期間：契約日～

令和7年3月31日

委託先：日本下水道事業団

・協定金額：1億5,200万円
（令和5年度事業3,600万円）

賛成全員 ↓ 可決



ロータリ除雪車

6月定例会 本会議 審査

6月13日

固定資産評価審査委員会委員の選任

高橋 正明 氏（土樽）（再任）

賛成全員 ↓ 同意

病院運営審議会委員の委嘱

綿貫 富雄 氏（三國）
高橋 和男 氏（三俣）
笛田 道夫 氏（神立）
南雲 和幸 氏（土樽）
剣持 道夫 氏（湯沢）
篠原 久見子 氏（三俣）
角谷 正喜 氏（土樽）
岩崎 裕一 氏（神立）

賛成全員 ↓ 同意

6月21日

追加議案第46号

令和5年度 一般会計補正予算（第3号）

- 223万7千円を追加し、総額を86億2,137万6千円とする。
- 県立六日町高校100周年記念行事寄付金 30万円
- 十日町市との境界裁判の控訴裁判

対応弁護士費用

190万円

戸籍住民基本台帳費
精算返還金

国庫支出金
3万7千円

賛成全員 ↓ 可決



湯沢保健医療センター

本会議

討X論

請願第1号

「消費税インボイス制度の実施中止を求める」意見書を国に提出することを求める請願

反対討論

岸野雅人

インボイス制度、「嫌だ」「面倒だ」は、十分理解するところですが、消費税導入から30年、これを機に「益税」などと言われぬよう、正しく納税すべきです。

賛成討論

南雲あや子

インボイス制度は、税率は変わらないが実質消費税の値上げも同然。財務省は約161万社が課税業者になると想定し、2,480億円増税になるとしている。インボイスとは、税務署の発行する登録番号が付いた領収書・請求書のこと。

免税業者（売上額1,000万円以下）は、課税業者になるか廃業するか税分を値引きするしかない。課税業者は免税業者が廃業したら自分の経営も困難になる。みんなが苦しむ制度だ。よって中止に賛成です。

請願第2号

「新潟県の最賃は信越・北陸・関東13都県中12位の低さである。抜本的に底上げするための意見書採択を求める」請願

反対討論

岸野雅人

需要と供給があります。例えば請願事項の「2」のように、最低賃金1,500円以上を…などと言えば、仕事そのものが無くなります。請願事項の「1」を含め、現実味のない請願に反対します。

賛成討論

南雲あや子

請願は、全労働人口の70%を占める中小企業労働者や非正規労働者の賃金の底上げを図るため、時間当たり最低賃金を全国一律で1,500円を目指すこと、新潟県など現在1,000円未満の地方の賃金を早急に1,000円以上に引き上げること、そして、賃上げをした中小企業には社会保険料の減免などの支援強化を求めるものです。

圧倒的多数の労働者の賃金が上がれば、大きな恩恵を湯沢町にもたらすので賛成します。

開会中の常任委員会審査

6月7日

※開会中常任委員会審査とは、定例議会中に行われる議案審査を本会議の議決に先だつて3常任委員会で行う審査です。

産業建設常任委員会

委員長 並木利彦

請願 消費税インボイス制度の

実施中止を求める意見書の採択

賛成少数 ↓ 不採択すべき

10月から始まるインボイス制度の実施準備が進められている。

インボイス制度は、免税点制度を實質的に廃止するもので、個人事業主・フリーランス・小規模農家やシールバー人材センターの登録者も消費税の納税義務者となり、取引から排除される可能性がある。多くの連合会や、税理士会団体が「凍結」「延期」「見直し」を表明し、現状での実施に懸念の声があがっている。

インボイス制度への登録申請は、3月末の申請期限が9月末まで延期されたが、物価高騰が続く中、中小零細業者は、事業継続や雇用維持等、懸命に取り組んでいて、インボイス制度への登録、経理変更準備に取り組む状況ではない。

よつて、「税制で商売をつぶすな」の願いを含め、以下の事項を請願す

6月7日

る。
1. 消費税インボイス制度の実施を中止することを求める意見書を国へ提出すること。

請願 新潟の最賃は信越・北

陸・関東12都県中12位の低さで

ある。抜本的に底上げするための意見書の採択

賛成なし ↓ 不採択すべき

2022年度、新潟地方最賃審議会では890円。最高額の東京都との差は182円。この格差是正のため、全国一律制度とした最低賃金を改正することを求める。

昨年6月の閣議決定で、「できる限り早期に最低賃金の全国加重平均が1,000円以上になることを目指し、引上げに取組む」としている。最低賃金の引上げは、適切な価格転嫁ができる環境整備に取り組むほか、抜本的に拡充した賃上げ促進税制度の活用促進、賃上げを行った企業からの優遇的な政府調達等に取り組み、地域の中小企業も含めた賃上げを推進し、また、中小企業団体が

求める社会保険料の免税も含めた支援の強化を求めるもの。

1. 政府は、最低賃金を全国一律最低賃金制度に改正すること。
2. 政府は、地域別最低賃金1,500円以上をめざすこと。
3. 政府は、最低賃金の引き上げにあつては、中小企業に対する支援の抜本的な強化をはかること。

陳情 国に対し、適格請求書等

保存方式（インボイス制度）の

延期・見直しを求める意見書の採択

賛成少数 ↓ 不採択すべき

長年のデフレや新型コロナによる経済への打撃に、物価上昇も加わり、地域経済は一層疲弊している。そういった状況下、適格請求書等保存方式（インボイス制度）が始まる。個人事業主・フリーランス・一人親

方・個人タクシー運転手等は、課税事業者になる必要があり、免税事業者のままだと負担増が強いられる。日本商工会議所や日本漫画家協会・中小企業団体・税理士団体等からは、現状のままでの実施に懸念の声を上げていく。「インボイス制度の中止を求める税理士の会」主催の院内集會に与野党議員も参加し、導入反対

や問題視する声を上げていく。中小零細事業者にとつて、消費税を価格に転嫁することは、現在困難な状況にあり、制度導入を契機に廃業の増加、成長意欲の低下等、地域経済の衰退に拍車をかけ、周知が不十分のため、多くの混乱を招く恐れがある。新型コロナ危機の下、事業継続に懸命に取り組んでおり、制度への登録、経理変更準備に取りかかれる状況ではない。中小零細事業者の事業存続と再生、ひいては日本経済振興のため、インボイス制度導入の延期・見直しを求める。



インボイスのスケジュール

令和
5年度

6月13日

一般会計補正予算審査
特別委員会委員長
田村計久

第2号 歳入歳出総額それぞれ8,640万9千円追加

賛成全員 → 可決すべきもの

主な歳入		主な歳出	
国庫支出金	新型コロナウイルスワクチン接種対策費 …………… 1,197万1千円	総務費	会計年度任用職員報酬増他 1,191万7千円
	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業 …………… 1,368万5千円		地域おこし協力隊（起業型）増… 1,740万円
県支出金	多面的機能支払交付金 …… 292万4千円		民生費
	繰越金 …… 5,730万4千円	衛生費	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業 …………… 1,267万2千円
			新型コロナウイルスワクチン接種 …………… 1,197万1千円
		農林水産業費	会計年度任用職員給料 …… 186万8千円
			農地中間管理事業（会計年度任用職員に関わ る）…………… △272万1千円
		土木費	移動式バスケットゴール …… 950万円
		教育費	GIGAスクール運営支援センター整備 …………… 178万2千円
			全国童画展事業 …… 57万9千円

説明要旨

歳入歳出予算の総額に8,640万9,000円を追加し、総額を86億1,913万9,000円とする。



主な質疑

- Q 会計年度任用職員に関わる案件が多い。11名緊急対策か。
- A 一般事務採用がうまくいかなかったため4名ほかの部門も同じで人員の確保に苦慮している。
- Q 協力隊三名の委託先はどこか。
- A 宿泊、飲食に関わるリトルジャパンは決定。協力隊のプログラムはどこが作るのか。
- A インターンプログラム作成は現在計画中。
- Q 大源太工場の修繕はどこか。
- A 駐車場入り口の看板、屋根部分が壊れた。
- Q バスケットゴール購入の説明にあった大会とは何人ぐらいでいつ開催か。
- A バスケの大会は7月～11月で200～300人規模で3大会が決まっている。
- Q バスケットゴールは移動式か、何台購入か、1台いくらか。
- A バスケットゴールは移動式で1台でなく1対2台の購入。
- Q バスケットゴールの対応年数は。
- A 今のゴールは35年使っているが対応年数はわからない。修理用の部品がなくなり購入する。

議員表決結果報告

令和5年6月定例議会

- ・採決結果の記載方法（可＝賛成多数で可決・採択等の場合…否＝賛成少数で否決・不採択等の場合）
- ・表決結果の記載方法（議員個々の賛否…賛成＝○・反対＝×・欠席＝欠）…議長は採決に参加できません

提出者	議案名	採決結果	飯田正義	水谷幸乃	南雲あや子	渡辺千恵	南雲好幸	並木利彦	高橋政喜	岸野雅人	宮田眞理子	田村計久	白井孝雄
5月臨時議会	監査委員の選任について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町介護保険条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和4年度一般会計補正予算(第11号)の専決処分の承認について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和4年度介護保険特別会計補正予算(第4号)の専決処分の承認について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	西山源泉掘削工事請負契約の締結について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	主水公園整備工事請負契約の締結について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	雪国館改修工事請負契約の締結について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ロータリ除雪車購入契約の締結について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月定例会	湯沢町公共下水道湯沢浄化センター再構築工事委託に関する協定の締結について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和5年度一般会計補正予算(第1号)について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町固定資産評価審査委員会委員の選任について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	病院運営審議会委員の委嘱について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和5年度一般会計補正予算(第2号)について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和5年度一般会計補正予算(第3号)について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	「消費税インボイス制度の実施中止を求める」意見書を国に提出することを求める請願	否	×	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×
請願等	「新潟の最賃は信越・北陸・関東13都府県中12位の低さである。抜本的に底上げするための意見書採択を求める」請願	否	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×
	国に対し、適格請求書等保存方式(インボイス制度)の延期・見直しを求める陳情	否	×	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×

5月臨時議会

6月定例会

開会中の常任委員会

一般会計補正予算

議員表決結果報告

一般質問

閉会中の常任委員会

議員全員協議会

町政を問う

「町政を問う」は、本会議で行った各議員の一般質問掲載ページです。

一般質問とは、執行部（町長や教育長）に対し、町政全般について事務の執行状況や方針をただしたり、報告や説明を求めるものです。執行部の回答時間も含め一人当たりの持ち時間は60分以内です。

このページでの掲載文は、質問者本人が自分の質疑内容を900文字に要約したものです。

尚、議会ホームページでは、全ての内容が録画されたものをご覧頂けます。

南雲 好幸 8
 移住者や外国人居住者へ対応する専用窓口設置と危機管理上のシステム化は

並木 利彦 9
 南越後観光バスの運休方針は

高橋 政喜 10
 湯沢、三俣宿本陣跡に石柱を

飯田 正義 11
 湯沢町の観光産業発展に向けた関連組織の状況は

渡辺 千恵 12
 10月から湯沢町から六日町の路線バス休止についてどうなったのか

南雲 あや子 13
 除雪体制について

水谷 幸乃 14
 訪問看護サービスの現状と今後

田村 計久 15
 職員不足に対し民間出身者と地元高卒者を職員採用できないか

宮田 眞理子 16
 集合墓・合葬墓について

白井 孝雄 17
 狩猟免許取得等にかかる補助金を増やしては

岸野 雅人 18
 移住者の一部情報「町内会長の問い合わせに限り伝えて良いか」と訊いてもらいたい

南雲 正 19
 観光産業を支える宿泊業界に対するコロナ禍後の経済復興のための更なる対策を



Q 移住者や外国人居住者へ対応する専用 窓口設置と危機管理上のシステム化は

南 雲 好 幸 (文責)



A 窓口を一つに絞ることは考えていない

質問 移住定住促進政策を進めている湯沢町。移住者や外国人居住者の増加で起る問題や悩み、相談に対応する専門の窓口が担当の設置が必要ではないか。

答弁 それぞれの分野で専門性が必要な事もある。窓口を一つに絞ることは考えていない。

質問 ①新しい問題の発見。②地元住民との融和を図る。③安心と安全対策上の対応等、迅速に行える事が重要。これらのシステム化の推進への町長の見解は。

答弁 役場内の横の連携を密にし対応したい。
質問 転入された方へ渡される案内は、手続きが必要な場合の担当部署案内の記載しか無い。ゴミ出しの問題、町内会への加入問題、除雪等について、外国人の方への説明問題（外国語表記等）、生活上必要な案内が分り易く、役場の窓口近くに看板を設置する等工夫すれば人員配置せずともできる対策ではないか。
答弁 現状を把握した上で分り易い表記も含め取り組みをしていく。

Q 保小中一貫教育校として 特色テーマを盛り込む予定は

A 年度内には明らかにしたい

質問 湯沢学園のブランドデザインには「特色ある教育活動の推進」とあるが、教育活動の一貫した特色テーマが無いが。

教育長答 重要な提言、方向付けに繋げたい。教育の大纲は今年度が最終年度、次年度は新たな計画となる。就任して2か月余り、現段階では方向性を示すのは難しい。年

度内に明らかにしたい。
質問 湯沢町を誇りに思い、地域愛を育む要素としてどんな特色が挙げられるか。
教育長答 キャリア教育の活動の中に歴史的な問題から未来に向かう問題まで含めた活動を取り入れたいが、まだ構想段階である。

質問 生徒数の減少、高校入試の定員割れ、教育要求の多様化、教員不足と働き方改革、様々な問題の中で子どもたちの将来と湯沢町の将来を見据えた教育はどうあるべきか。
教育長答 学園は、唯一の公

教育の場であり、果たすべき役割は極めて大きいと認識。子どもたちが、自分で考える力を身につけ誰に会っても互いの違いを認め、新たな一歩を創造的に切



湯沢学園

り開いていける意志と実行力を育てたい。その教育目標を「人を想い、我を磨く」とし、オール湯沢で湯沢学園の教育を更にバージョンアップさせ充実に努めたい。



Q 南越後観光バスの運休方針は

並木利彦(文責)



A 5月26日 国への休止届けを取り下げた

質問

南越後観光バスが新潟県魚沼地方の4路線で1年間運休方針について湯沢町はどのような対応をするのか。

近年、JRは、降雪での運休が多い。六日町までの通勤通学バスの確保は大事。また、魚沼地域の観光にとって大事な17号路線の運行。魚沼の自治体連携の共有した考え方が必要となる。町長の考えは。 ※5月26日、国への休止届けを取り下げ。

答弁

南越後観光バス、関係市町において協議をしてきた。当該路線の運行に必要な経費の負担、運行本数、運行形態を引き続き協議していく。



南越後観光バス

観光まちづくり機構

500万円のHP作成補助金

(観光まちづくり機構を機構と略す。)

経緯

- 令和4年9月21日 機構運営支援補助金の変更交付申請、交付決定。
- 令和4年10月28日 機構においてプロポーザルを行い、事業者を決定。
- 令和5年3月上旬 (株)プラウトから年度内に業務が完了できない報告あり。
- 令和5年3月31日 補助金額500万円のうち未着手分236万円を繰越。

Q 観光まちづくり機構資料よりなぜ年度内にできなかったのか。

A 冬季イベントの特設ページを作ることを優先した。現在のHP内部がブラックボックス化しており中身を修正するのに想定よりも時間を要してリニューアルができなかった。

た。

Q HPリニューアルはどこに業者に委託したのか。

A (株)プラウトに委託。昨年、起業型地域おこし協力隊で着任した方の会社。

質問

機構は、基幹産業の観光復興を担っている組織。この度の機構のHP改修事業の発注は、プロポーザルにおいて業者選定し、応募社が1社。一人社員の会社に発注することは、問題があったのではないかと。補助金を支出している機構の業者選定方法について、今後どのような指導をしていくのか。

答弁

機構の財務規定に則って業者選定を行った。今後はこの事を踏まえ選考方法の見直しを検討するよう伝えた。

質問

HP作成補助金500万円は湯沢町の税金。町民の期待を裏切ることになる。機構は自己財源に乏しく補助金に頼る組織。補助金が適正に執行され、観光・地域復興のために町は積極的に関与する必要はある。予算執行効率化のため、事業の見直しも必要。どのように組織に関与していくのか。

答弁 予算を効果的、効率的に執行するよう指導してきた。今後はより積極的に関与していく。



越後湯沢駅東口前に移転した湯沼まちづくり機構事務所



Q 湯沢、三俣宿本陣跡に石柱を

たか はし まさ き
高 橋 政 喜 (文責)



&

A 町民、子どもたち、観光での来町者のためにも協議検討の必要性がある

三国街道宿場の歴史

質問 三国街道4ヶ所の宿場本陣跡地の確定について、三俣本陣跡に石柱等の設置について問う。

答弁 大正7年(1918年)三俣地区の雪崩により本陣はなくなり、現在は石垣だけとなり又私有地のため石柱には協議・検討が必要。

質問 私有地は承知している。所有者や町内の協力も必要と思うが、歴史・文化の継承は必要と思うが。

答弁 三俣本陣の文献を見ることができなかつたが、総合的な歴史文化の保全との考えもある。



三俣道路元標

質問 湯沢宿本陣跡地に石柱の設置はどうか。

答弁 湯沢宿本陣跡地は、観光場所の確認が必要、観光光ま子ども教材に必要と考える。

質問 二居宿の本陣今後の保存は。

答弁 二居宿は説明により、現公民館との事で石柱も併せて後世に残すものと考え。今後湯沢・三俣・二居宿は総合的検討課題とする。



三俣宿本陣跡



二居本陣前



湯沢宿本陣跡

特別養護老人ホーム等の現状

質問 新型コロナ禍での、身体的リハビリと言語(げんご)のリハビリはどのように行われているか。

答弁 心身機能が衰えないよう工夫しながら入居者を支えている。身体的リハビリの理学療法士と作業療法士や看護師が任にしている。しかし言語療法士はいない。今後の課題。

町内のコミュニティ

質問 町内における空き家、住宅買収について行政はどのような対策を考えているか。町内のコミュニティが壊れる恐れがあるので行政としての対策・対応は。

答弁 居住形態の変化により、居住者との疎遠は認識している。買収による建物のゴミ等の問題はあるので改善を検討中。



Q 10月から湯沢町から六日町の路線 バス休止についてどうなったのか

& 渡辺千恵 (文責)



A 5月26日付で休止を取り下げ 10月1日以降も運行することが決定

この路線は利用者が少なくとも、通勤や高齢者にとって病院などに行くための大事な路線である。今回解決してもまた利用者減少により、路線の縮小、休止なども考えられる。

質問

今までは路線バス事業者に対し、赤字補填をしながら維持してきたが、持続可能性、効率性の高い公共交通を目指すために、国土交通省のローカル路線バス支援制度である「エリア一括協定運行事業」を活用し、南魚沼市と連携していくことはできないか。

答弁

湯沢町はエリア一括協定運行について動き始めているが、南魚沼市はまだである。将来的には検討するが簡単ではない。



持続可能な運行を目指さなければ

インバウンドについての取り組みは

質問

北陸新幹線沿いの市町などはインバウンドのお客様誘致に力を注いでいる。出遅れてしまうとお客様が流れてしまう。湯沢町はどのような取り組みをしていくのか。

答弁

雪国観光圏を中心に協力しながら考えていく。駅からの2次交通が重要だとも考えるので取り組んでいく。

質問

インバウンドのお客様はほとんど現金を持たずキャッシュレス決済である。キャッシュレス決済導入もお客様へのサービスだと考える。まずは現状を調査し、機械導入時の補助金などを考えられないか。

答弁

湯沢町でもキャッシュレスが進んでいるが、今後は実態調査をしながら検討していく。

グリーンシーズンの取り組みについて

質問

長年課題であるグリーンシーズンであるが、地域ごとの特性を活かした取り組みなどは考えていないのか。今回補修工事が終わった大源太砂防堰堤はツアーで見られないが、期間限定でもいいのを見ることが増やせば新たな観光にも繋がるのではないか。

答弁

湯沢町総合戦略にもあるように、地域の特性や資源を活かした体験型、農業、産業などとも連携し湯沢町らしい観光に繋がるものを考えていく。砂防堰堤については管理の問題もあるが今後考えていく予定。

質問

夏合宿などは施設が古くなると利用が減る。例えばカルチャーセンター、また陸上競技場なども荒れていて



大源太砂防堰で排水溝から見える景色

答弁

おお客様のニーズやターゲットを考えたうえでしっかりと考えていく。



Q 除雪体制について

南 雲 あや子 (文責)



A 町長として支援体制等をしっかりやっていく

質問 私たちが行った「町民アンケート」で、一番多かった困りごとが除雪でした。町には、「高齢者世帯等除雪支援事業実施要項」があり、これを社協に委託して実施しているが、より充実したものとするため、冬期間のみ会計年度任用職員を採用し、除雪困難世帯へ人材を派遣する事業としてはいかがか。

答弁 降雪時は人手がなく危険を伴いハードルが高い。今後高齢化が進み需要は高まるので社協と連携し支援体制の充実を検討していく。

質問 旭原の人達と県道の除雪のことで町に相談に行ったときの回答は、「県道の除雪まで対応できない、直接県へお願いします。」というものだった。救急車も通れない状態の改善を、湯沢町民の命と暮らしを守る立場から町が責任をもって県と交渉してほしい。

答弁 夜間の除雪は平成29年度から、町の要望と皆さんの県への説明が相まって現状になった。町長としてまた部長からもしっかりと要望を伝えていく。

Q 大軍拡、増税から平和と町民生活をどう守るのか

A 平和国家日本としての日本の歩みは不変

質問 岸田内閣は、今までの安全保障政策を大転換し、「敵基地攻撃能力の保有」を可能とした。「専守防衛」を捨て去るこの政策では、軍事には軍事の悪循環を拡大し、

国民をさらなる危険に巻き込む。観光立町湯沢にとつてどのような影響が出ると考えるか。

答弁 岸田首相は、平和国家日本としての日本の歩

みは不変だ、と述べている。そうであれば、観光立町湯沢に影響はないと考える。

質問 今日成立した「防衛力財源法」では、軍事拡大のため5年間で43兆円の財源が必要としている。その財源は結局国民負担につながる。町長は、がんばろう湯沢商

品券の配布など町民のために努力をしているが、この法律が実施されれば町民生活を大きく圧迫することになるがどう思うか。

答弁 防衛力財源法の実施で湯沢商品券が水泡に帰すとはなんとも言えない。昨今の物価高騰の中少なからず効果があると思う。

質問 財源については、国会の中で議論して決めていくことであり、私からは差し控える。

答弁 平和でなければ観光は成り立たないがどうか。紛れもないことだ。

日本は軍事費を2倍化すれば世界第3位に

2022年・世界の軍事費上位10カ国 (単位:億ドル)

1	米国	8770
2	中国	2920 ※
3	ロシア	864 ※
4	インド	814
5	サウジアラビア	750 ※
6	英国	685
7	ドイツ	558
8	フランス	536
9	韓国	464
10	日本	460
(11)	ウクライナ	440)

2倍化すれば920億ドルに!

※データ不備・不適切のため推計 SIPRI報告書に基づく



みず たに ゆきの の
水 谷 幸 乃 (文責)

Q 訪問看護サービスの現状と今後



&

A 需要や採算を考慮し検討していく必要がある

質問 湯沢町でも在宅介護を担っている世帯は多く、居宅サービスのひとつとして訪問看護があるが湯沢町では不十分な状況である。湯沢町で訪問看護を受けられる事業所はどこか。介護保険、医療保険の両方について回答を求めらる。

答弁 るあな訪問看護ステーション、みなみ園訪問看護ステーション、湯沢病院の3か所。湯沢病院では医療保険のみ適応。

質問 訪問看護を必要としている人数と実際の訪問数のデータを把握しているか。

答弁 把握していない。湯沢病院で訪問看護を受けている人は1人であり、医師の判断に基づくのであればその人数が必要人数である。

質問 訪問看護は家族の心的負担の解消にもつながる。第9期介護保険事業計画での検討はどうか。

答弁 計画内容を検討し、人材不足や採算の問題等様々な問題があるが、行政としてできる限りの対策をとつていく。

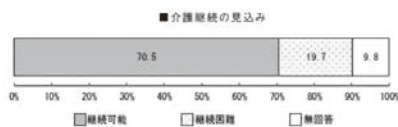
介護人材の確保について

離職防止に関する施策について十分ではないと耳にする。離職防止の責任と役割を事業者だけに押しつけず、行政としてできる可能性のある施策を検討し、実現していくことが湯沢町にとって急務の課題だと考える。

質問 湯沢町で働く介護職の人数、増減、離職率、離職者の離職時年齢、離職理由について。

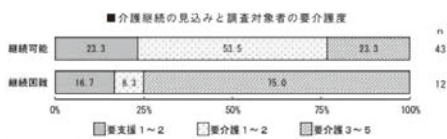
(2) 主な介護者の介護継続の見込みからの分析

フルタイムあるいはパートタイムで働いている調査対象者の主な介護者に、今後も働きながら介護を続けていかれるかどうかについて回答を得て、これを「問題なく、続けていける」と「問題はあるが、何とか続けていける」を統合して「継続可能」とし、「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」を統合して「継続困難」としたものが次のグラフです。70.5%と約7割は継続可能と見込んでいる一方で、19.7%と約2割が継続困難と見込んでいます。



<調査対象者の要介護度>

調査対象者の要介護度をみると、「継続可能」は「要介護1～2」が53.5%と最も多いのに対し、「継続困難」は「要介護3～5」が75.0%と約8割を占めます。



(4) 訪問看護・介護予防訪問看護

医師の指示に基づき、看護師等が利用者の自宅を訪問し、健康チェック、療養上の支援または必要な診療の継続を行うサービスです。

【現状の課題・施策の方向】

(在宅介護)希望する方が増加しており、ニーズも増える傾向にあります。第8期計画においても利用者の増加を見込みます。

利用実績と見込み	計画値(人/月)	第7期			第8期		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度(見込み)	令和3年度	令和4年度	令和5年度
介護	計画値(人/月)	3	3	3	0	0	0
	実績値(人/月)	2	3	3			
	実行率	66.7%	100.0%	100.0%			
予防	計画値(人/月)	8	8	8	26	26	26
	実績値(人/月)	12	19	24			
	実行率	150.0%	237.5%	300.0%			
合計	計画値(人/月)	11	11	11	26	26	26
	実績値(人/月)	14	22	27			
	実行率	127.3%	200.0%	245.5%			

答弁 町では労働に対する対価をみて取り組みをしてきた。国の処遇改善の加算を含め、事務職やケアマネなどと介護士との賃金の格差がほとんどない。そのため処遇改善もその現状のように対応している。

質問 体力、精神的にも過酷な状況で働いている。今働いている人材を大切にすることが必要。町独自で職員への直接金銭的支援などの対策が必要と考える。今後町の施策で検討はどうか。

答弁 人材が湯沢に定着するように対応を考えていく。

質問 人材が湯沢に定着するように対応を考えていく。



Q 職員不足に対し民間出身者と地元高卒者を職員採用できないか

& 田村 計久 (文責)



A 指摘のとおりで、民間出身者を採用し職員数の不足に対応したい

質問 一般職員は近年、早期退職などにより職員不足で業務に支障をきたしている。さらにデジタル化の復旧など事務内容が多様となり専門的な知識や社会的な経験などが求められている。民間活力の導入と、地域で育った高校卒業生の採用を進めたらどうか。

答弁 指摘のとおりで、民間出身者を採用し職員数の不足に対応したい。地元高校生に限る採用は不公平になることから難しいが高校生に職員採用のアピールなど検討してみる。

地下水対策と温泉量について

質問 湯沢地区の井戸採掘、民間では313本、国、県、町で109本。年々採掘は深くなっている。西山地区では温泉量が近年減少傾向の兆候があるので地下水、温泉資源の現状調査が必要でないか。

答弁 温泉は民間会社の運営で情報はないし町が調査とはならない。地下水については今後注視していきたい。

質問 枯渇した西山源泉は町所有、入湯税条例にある鉱泉源の保護に基づき財源を活用してモニタリングしたらどうか。

答弁 西山源泉を採掘しその状況で温泉会社から情報を取りたい。

観光来町者の受け入れについて

質問 今冬、予想外の観光客の入込、改めて課題が多く有った。労働力の確保、食事難民、交通体系、機能しない町づくり機構、外国人対応、犯罪や災害対応など基本的な課題ができていない。町の取り組みは。

答弁 公共交通のあり方、マッチボックス、食事対策など検討している。観光地として選ばれる町として、

ハードにしっかり取り組みソフトを展開し他に負けない観光地づくりを進める。

町道の改良を

質問 町民の利用も多く、交通に一部支障をきたしている役場横（石白9号線）、上原自動車様裏（中川線未改良部）の改良着手はできないか。

答弁 状況は把握しているので、担当部局と検討協議してみたい。



役場横（石白9号線）



上原自動車様裏（中川線未改良部）



みや た ま り こ
宮 田 眞 理 子 (文責)

Q 集合墓・合葬墓について

&

A 引き続き検討する



質問 町民が集合墓・合葬墓についての必要性を感じていると、私は認識している。昨年の9月議会では、従来の習慣に配慮し検討するよう指示したいという答弁があった。

ホームページでは現在空き区画は、比較的に使用権利金の値段が高い大野原に数区画と表示されていた。墓地の管理料は、墓地の区画により1,900円から3,800円である。墓地の継承が難しくなり、墓じまいをしている町民が増えている。近隣の寺院の永代供養に移す例が多い。町に集合墓・合葬墓を作り、埋葬時に一体の金額で管理費の心配をなくすることができ。後々の管理費の心配せずに、ずっと湯沢の地に入っていられるようにするべきである。町も、継承者を調べたり、滞納を追いかけるなどの必要もなくなる。墓じまいが増えているということはニーズが高まっているということである。早急に取り掛かるべきである。

答弁 町管理の墓園は全606区画で、空き区画は5月末現在で41区画である。集合墓・合葬墓の設置については、先進事例を調査し、墓園拡張と併せて検討しているが、様々な理由から墓地の継承が難しくなっているためか、昨年秋季以降、墓じまいをし、墓地の返還をする人が散見される。今後も墓じまいをする方が増加することが予想され、現在のところ拡張の緊急性は薄れている。集合墓・合葬墓についてニーズが高まっていることは承知しているが、町内の寺院でも永代供養塔の計画がある

と聞いている。当分の間、集合墓・合葬墓のニーズは町内の寺院が設置した永代供養塔が満たすものと考えている。今後もニーズを見極めて、引き続き検討していく。



大野原霊園

Q 可燃ごみの袋の二枚売りについて

A 2店舗において試験的に販売

質問 ゴミ袋の販売について9月に提案したところであるが、担当課と検討していきたいということであった。検討後どのようなことになったかを伺う。

答弁 南魚沼市の担当課と協議をして、ニーズがあるか、夏の観光シーズン、この7月から8月にかけて町内のスーパー2店舗で試験的に販売をする。家庭用の可燃、不燃、容器ごみ袋の全サイズである。その結果を見て南魚沼市の担当課と協議する。





Q 狩猟免許取得等にかかる補助金を増やしては

しら い たか お 白 井 孝 雄 (文責)



A 猟友会ともよく相談する



行楽や山菜採りなど山に入る際はクマにご注意ください

鈴・ラジオなど音の鳴る物やクマよけスプレーを携帯	子グマを見たら立ち去る <small>母グマが近くにいる可能性があります</small>	単独行動は避けて複数で行動
作業中はこまめに周囲を確認	クマが出没した場所をチェック	クマを刺激しない

質問 昨年度のクマ・サル・イノシシ・シカの駆除の数は例年より多かったのか、少なかったのか。

答弁 クマ：7頭、サル：23頭、イノシシ：1頭、シカ：1頭。例年よりすこし少なかった。

質問 全国でこの春のクマの目撃情報が多発しているが、町として特別な注意喚起をしないのか。

答弁 現時点では、広報・パトロール等を強化しているが特別な事はしていない。



質問 狩猟免許取得者等に補助金を増やしては。猟友会の高齢化も進んでいることもあり、免許取得ができやすい環境づくりをしていく。

答弁 狩猟免許取得者等に補助金を増やしては。猟友会の高齢化も進んでいることもあり、免許取得ができやすい環境づくりをしていく。

Q

スキー育成会の再構築をしては

A

育成会の会議等で検討する

質問 山川純子さんはアルペンスキー世界選手権のNHKの解説やユースのイタリア遠征などで大変頑張っているが、町としてどうとらえているのか。

答弁 オリンピック出場者に指導して頂けることで大変感謝している。湯中のスキーレベルが保たれているのは、彼女のおかげと思っている。

質問 山川純子さんが湯沢に来てくれて5年目、そして新教育長が就任された今、体制や強化策の再考をしては。

答弁 もう一度環境整備をして、彼女が動きやすいように育成会等の会議で検討していく。



ユースのイタリア遠征



Q 移住者の一部情報「町内会長の問い合わせに限り伝えて良いか」と訊いてもらいたい

岸野 雅人 (文責)



A 難しい。町内会で対応願いたい

国籍によらず、移住者に町内会へのご理解を得ねばならない。

質問 移住者の氏名・言語・電話番号、町内会長からの問い合わせに限りお知らせできるよう、転入時に了解を得てはどうか。

答弁 個人情報提供は難しい。

質問 状況によるが、転入の際、町内会加入や近隣との協調など、勧められないか。

答弁 難しい。相手が不快に感ずることもある。町内役員からのご案内を願う。

質問 病院や警察等定期の回覧文書は、例えば毎月5日までとか、行政も5日と20日とか、調整願えないか。

答弁 調査し、打合せて調整したい。

質問 行政の通知は要点を簡略に記し、読まずとも見れば分かるよう心がけてもらいたい。

答弁 結果的に行政の仕事も減る。分かり易いお知らせを職員に指示する。

質問 町の連絡への町民の声が文書なら、何らかの対応があつて良いのではないか。

答弁 考えていきたい。

美しい地域を誇りとするため、朗唱朗読を

5月に「朗唱教育」の山口県明倫小学校（学年学期ごとに吉田松陰の言葉を選定）や、「松下村塾」「生家とお墓」など訪れた。

地域の誇りが文化財を大切に、綺麗に保つ意識に繋がっていると感じた。

質問 「美しい地に美しい言葉が生まれる」。この地なら「雪國」や「北越雪譜」。世代を問わず、向学の志と美しい地域の誇り醸成のため毎日1〜2分の朗読朗唱に取り組んではどうか。また、他に着想があるか。

答弁 湯沢学園では、資料集「大好き湯沢」に、鈴

木牧之も川端康成も十分に掲載。湯沢の歴史・文化・自然を適切に学んでいる。また、時間帯の確保も困難。

質問 1年生1学期の朗唱は、「今日よりぞ 幼心を打ち捨てて人と成りにし道」を踏めかし。

校長先生のご子息も同校の卒業生、30歳代から、言葉の意味を噛み締めるようになったとのこと。

教育とは環境。それは「どんな大人がいるか」の問題。朗唱教育は昭和56年から。その時の一年生は現在48歳ほど。

代をつなぎながら吉田松陰の言葉がすり込まれ、教育環境が整うことに凄みを感じる。どうか。

答弁 朗唱教育でなく、別のやり方が良い。





Q 観光産業を支える宿泊業界に対するコロナ禍後の経済復興のための更なる対策を

南 雲 正 (文責)



A 消費喚起を目的とした国の交付金があった際に、検討する

質問 コロナ禍の中で観光産業の基幹となる宿泊業界は、国県の支援により復活の兆しは見えるものの、支援が終了した後が心配されることと、売り上げの急減に苦しむ中小企業の資金繰りを下支えした「ゼロゼロ融資」も、今夏7月に元本返済のピークを迎え、更に物価高騰も追い打ちをかけている。

昨年、秋冬観光活性化対策として実施した宿泊業者対策のYUZAZA割は、宿泊予約サイトでの割引クーポンのため、町の独自対策にもかかわらず湯沢を訪れた観光客にとっては印象の薄いものであった。

宿泊業界への経済対策として、YUZAZA割を予約サイトのクーポン発行ではなく、湯沢の宿泊施設を訪れた人に対するサービスとして実施して、伝統として培われてきた湯沢のおもてなしの心を示し、湯沢を再度訪れるきっかけづくりとしてコロナ禍からの復活の一助とする必要があると思ふ。



閑散とする湯沢駅

答弁 消費喚起を目的とした国の交付金があった際や、旅行消費の動向を見て必要と判断した場合には、提案のあった経済対策を含めて検討する。

Q 移住者やUターン者が町内企業等に正規雇用される組織を確立し、人手不足の解消を

A 現在も、お試し就業として活動のPRをしており、移住定住業務委託者のきら星と連携して成果を上げている

質問 町内への移住者やUターン者が正規雇用されるための組織を作り、町内企業の人手不足解消への道付けにつながる方法を検討する必要があります。

国は、都内の大学を卒業して地方の中小企業に就職する人に移住支援金を支給する方針を決め、来年から実施する予定である。

他の団体では、既に行政が直接携わる手法で対策を進めているが、様々な手法を参考にし、湯沢マッチボックスを進化させた新たな湯沢版町内企業と移住者、Uターン者がマッチングできる組織を作り、対応することはできないか。



賑わう湯沢駅

答弁 湯沢マッチボックスでの単発バイトから、長期雇用になる例もあり成果を上げています。7月からは気軽にインターシップを行える仕組みの運用を開始して、将来的な正社員登用を目指す取り組みを実施する。

閉会中の常任委員会調査

※閉会中常任委員会調査は、閉会中（定例議会と定例議会の間）に行われる継続審査や、調査の必要がある議題について行われる委員会です。

総務文教常任委員会

5月30日

令和3年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検評価報告

令和3年度における決算額報告、また教育委員会人員配置報告、学校教育関連、生涯学習関連、子育て支援関連、認定こども園関連の状況、対応などについての報告。

令和5年度 湯沢町の保育と教育

湯沢学園の園児、児童、生徒数、また活動計画の報告。湯沢町の保育方針、湯沢学園の経営方針と教育についての方針についての説明。

令和5年度 湯沢町生涯学習実

生涯学習の目標、重点施策、中でも高齢者については令和5年3月末には、3,143人。高齢者が自立

湯沢学園の近況

令和5年度より実施される「中学生休日スポーツ」の指導員及び部活動指導員についての説明及び学園の現状や不登校やいじめについての報告。

Q 不登校の生徒はどれくらいいるのか。

A 小学校4名、中学校9名

Q 不登校の子どもはどのように過ごしているのか。

A 学校に登校できる子供は保健室やその他の教室ですごしている。また民間のコミュニティで過ごす子供もいる。家庭で過ごしている子供については学校との連絡を取り合っている。

消防防災

旧湯沢小学校体育館脇に造られた

エントランス棟の工事過程の説明。エントランス棟は、建物工事は終了。令和6年度主水公園工事完了後から使用できる。町の備蓄食料、水防等資機材、物品備蓄数などの説明。旧湯沢小学校跡地に造られたエントランス棟視察。



エントランス棟

生活福祉常任委員会

5月31日

介護保険の運営状況

介護保険の財源構成は、公費50%、65歳以上の保険料23%、40歳以上65歳未満の保険料27%である。介護保険料の基準額は第5段階で、月額5,200円、年額にして62,400円。

介護サービスを利用するには、窓口である地域包括支援センターに相談し、チェックリストや申請等手続きを行い、認定調査、認定審査会を

経て、要介護度を決定。介護認定審査会は月に10回から11回、南魚沼市と合同で行われ、湯沢町の介護認定率は、13.01%。県内で一番低い。介護給付費の令和3年度と令和4年度を比較すると通所サービスが93件減であり、理由としては新型コロナウイルスによる休所。

訪問サービスは湯沢町社会福祉協議会で、通所サービスは湯沢町社協短期入所サービスはゆのさと園、地域密着型サービスはデイホーム雪割草、健康倶楽部ゆざわ、グループホーム雪割草である。地域密着型については同一敷地内である。湯沢病院の療養病棟は12月から介護医療院。果か。

Q 認定率の低さは、予防事業の成果か。

A 介護人材不足による問題。サービスが受けられないので認定を待たせてもらっている。

要介護サービスについて緊急性のある場合は近隣の施設につなげている。

Q ケアマネージャーは何人いるのか。何か問題があるか。

A 社会福祉協議会4人、ゆのさと園1人。担当をそれぞれたくさん持っていて厳しい状態。

新型コロナウイルス、ワクチン接種の現

状と課題

令和5年春接種は、対象者は高齢者・12歳以上64歳の基礎疾患のある方・医療従事者で5月29日時点2,897通の接種権を発行。使用ワクチンはオミクロン株対応2価ワクチン。個別接種7月28日、集団接種7月5日までを予定。

令和5年度秋接種は、9月から臨時特例期間令和6年3月末まで、日程は病院と相談の上決定。費用は春・秋ともに国の負担金、補助金で全額補填。

マイナンバーカードの交付状況と課題

令和4年度は1,822件の交付。令和5年4月末現在の交付率は湯沢町73.48%である。

課題として、町民窓口係の体制が正職員1名減に加え経験年数の短い職員が多く、令和5年度はマイナンバー取得支援も国庫補助金対象予定、専任の短時間勤務会計年度任用職員を採用し対応。体制的には非常に厳しい。9月末の期限直前の混乱を避けるため、計画的な交付の取り組みが必要である。未交付は350人程。

誤登録防止のため手続き支援マニュアルの順守を行う。

その他

公衆浴場の混浴年齢を定める条例について、元議員の方から話があった。新潟県では条例を定めていない。湯沢町にこの条例があったほうが良いかどうかというところがあったほうが良いのではないかと。

産業建設常任委員会

5月26日

令和4年度観光客入込状況について

- 入込状況は令和元年度363万1400人、令和4年度340万8500人对令和元年度比93.9%までもどってきている。
- ジャンル別では、温泉が人気だが他のジャンルは新型コロナウイルス前にはもどってきていない。
- 主な観光施設、共同浴場、道の駅みつまたは、もどりつつある。
- スキー場入込数は183万9,180人前年比118.0%であった。
- 外国人が18万人あまりで戻ってきている。

令和5年度観光政策、町経済復興対策

●ゴールデンサイクルルート

2市1町自転車活用推進協議会で設定した「ナショナルサイクルルート」指定に向けて、国、県、両市と取組中。

このルートとは、自転車活用推進法に基づいて自転車活用推進計画で制定。世界に誇れるルートを認定する制度で現在国内に6コースが指定。



ゴールデンサイクルルート

●ゆざわマッチボックス

実績 登録者 924人
(うち町民341人)

求人掲載事業者数 53事業者
マッチング件数 1,927件

Q トラブル対応はどうしているのか。

A 町は問い合わせがあれば解決で

きることはする。基本は受託者が行っている。

Q 受託者に町はいくら払っているのか。

A 200万くらい払っている。

Q マッチボックスの年代別、性別は。

A 町民では30代40代の女性が多い。町民以外では20代が多い。

Q 夏の観光対策は。

A 通年の観光活動を進めお金のからない情報発信をしていく。



ゆざわマッチボックス

地域おこし協力隊の現状

【農林型】

昨年に引き続きスイカ、かぐら南蛮等の農産物の栽培およびその加工、販売に至るまで精力的に活動。

【起業型】

岡本奈緒氏はNPO法人COCO irō、藤沼浩之氏は(株)フジクロサービスをそれぞれ設立し令和5年3月31日で隊員を卒業。

【観光型】

一般社団法人雪国観光圏業務で窓口案内、記事執筆等。

ふるさと納税の状況

●フジロック関連の実績(5月22日現在)

申込件数：373件

寄付額：4,697万7,000円

※フジロックの食事券がふるさと納税1万円で3,000円食事券がもらえる納税が開催まで伸びるのではない。

・自動ふるさと納税機実績

申込件数：36件

寄附額：105万円



ふるさと納税機

新たな企業誘致の見込み

●中子町有地への企業誘致について
自治体の課題解決のため、民間企業をマッチングさせるサービスである「自治体コネクト」の活用をする。

令和5年度地域整備部建設課事業及び県道改良事業内容について

て

■令和5年度地域整備部建設課事業

資料に基づき説明

■令和5年度県道関係改良工事(進捗状況)

1. 県道越後湯沢停車場岩原線(街路事業「宮林岩原線」)

○令和4年度緑越事業

①道路改良工事

工事箇所：かぶら木入口通路

町道荒谷・大野原線交差部

②道路改良工事

工事箇所：町道原新田小坂線交差部

湯沢学園入口(町道荒谷大野原線)

大野原線)

○令和5年度事業

①舗装工事

工事箇所：かぶら木入口通路

町道荒谷・大野原線交差部

②道路改良工事

工事箇所：湯沢学園入口(町道荒谷大野原線)

町道荒谷・大野原線交差部

大野原線交差部

2. 県道越後中里停車場線(道路改良：中里工区)

○令和4年度緑越事業

道路改良工事

工事箇所：県道万条新田越後中里停車場線交差部付近

町道中里駅前線交差部

里駅前線交差部

3. 県道越後中里停車場線(道路改良：中里(第2)工区)

工事箇所：町道中里駅前線交差部

越後中里駅方面

○令和4年度緑越事業

地元説明、物件調査。

○令和5年度事業

用地買収。

4. 県道万条新田越後中里停車場線(道路改良：小坂工区)

○令和4年度緑越事業

地元説明、丈量測量、家屋調査。

○令和5年度事業

用地買収。

5. 県道湯沢温泉線(湯元交差点改良)

○令和5年度事業

地元説明、事業実施に向け協賛中。

○令和4年度町道関係他の除雪実績

累加降雪深

今年度 858cm

去年度 1,516cm

去年比 57%

稼働日数

今年度 59日

去年度 90日

去年比 60%

今年度 398.1時間

去年度 428.6時間

去年比 93%

今年度 77t

凍結防止剤購入量	今年度	77t
	去年度	80t
	去年比	96%
町道除雪委託費用	今年度	3億1,258万円
	去年度	3億5,270万円
	去年比	89%
町道消雪施設電気量	今年度	7,876万円
	去年度	7,434万円
	去年比	106%
町道消雪施設修繕工事修繕料	今年度	1,307万円
	去年度	2,596万円
	去年比	50%

議員全員協議会

※議員全員協議会は、議会の協議または意見調整、本会議審議に伴う協議または意見調整、執行部による事前説明及び意見聴取の場として会議が開催されます。

3月24日 第3回

令和5年度税制改正の概要

1 車体課税

- ・環境性能割の税率区分の見直し
現行の税率区分を令和5年12月まで据え置き、令和6年1月から3年間で段階的に引き上げる。
- ・グリーン化特例
現行の経過措置等、適用期限を3年延長する。
- ・燃費、排ガス不正行為への対応
税制上の再発防止を強化するため、納付不足額を徴収する際に加算する割合（現：10%）を35%に引き上げる。

2 納税環境整備

- ・固定資産税及び不動産取得税に係る質問検査権の対象明確化。
- ・ふるさと納税における全指定対象期間に係る基準不適合等への対応。

3 主な税負担軽減措置

- ・中小事業者等の生産性向上や賃上げの促進に資する機会・措置等の償却資産の導入に係る特別措置を

創設（固定資産税）。

現行では、わがまち特例としていますが、わがまち特例を廃止し地方税法で定める。

- ・長寿命化に資する大規模修繕工事を行ったマンションに係る税額の減免措置を創設（固定資産税）。

町の条例で定めるわがまち特例となる。マンションの特例については、対象の要件として、築20年以上経過し、過去に1回以上長寿命化工事を行っているもの。また、それに必要な積立金を確保しているマンションが対象。

- ・バス事業者が路線の維持に組みつつEVバスを導入する場合における変電・充電設備等に係る課税標準の特例措置を創設（固定資産税、都市計画税）。
- ・先進安全技術を搭載したトラック・バスに係る特別措置について、歩行者探知機能付き衝突被害軽減ブレーキを対象措置に追加した上、2年延長（自動車税環境性能割）県税として徴収。

4 航空燃料譲与税

航空機燃料税の軽減措置の税率見直し・延長に伴い、航空機燃料譲与税の譲与割合に係る特例措置について、地方へ譲与分が維持されるよう譲与割合を見直した上、5年間延長。今後の条例改正については、令和5年4月1日施行分として、法人町民税については、様式の改正。個人町民税については、特例の延長となる。

国民健康保険税については、課税限度額を2万円引き上げ、2割、5割、7割の減額措置を計算する際の軽減判定所得の基準額の引き上げを行う。

令和5年7月1日施行分として、軽自動車税の種別割の税率・規則改正に伴う改正。特定電動機付き自転車（電動キックボード）の部分の改正。

令和6年1月1日施行分として、個人町民税は森林環境税が導入される。町民税3,000円、県民税1,000円に森林環境税（国税）1,000円を上乗せして徴収し、県税分、国税分を合わせて県に納入。

主な税負担軽減措置に対する質疑

Q マンションの管理計画認定制度に絡んで、長寿命化事業に係る税額の減額措置なのか。

A マンションの管理の適正化の推進に関する法律に基づいてこの措置が講じられている。

豊島区との協定

1月27日豊島区との協定を締結する予定であったが、豊島区長が体調を崩し延期。2月9日豊島区長が亡くなり、4月23日の区長選後、再度日程調整、協定を締結することになる。

Q 区長が変わると、協定の内容に影響が出るか。また、内容はどのようなものか。

A 協定の内容は、観光に絞ることなく広くやれることを協力する内容になっている。

4月6日 第4回

政務活動費の使途報告

各議員が報告及び説明。（年間限度額60,000円）

1番	高波	大吾	0円
2番	渡辺	千恵	60,000円
3番	和田	一郎	0円
4番	南雲	好幸	60,000円
5番	並木	利彦	40,800円
6番	高橋	正喜	60,000円
8番	宮田眞理子		5,844円
9番	田村	計久	0円

10番 佐藤 守正 60,000円
 11番 白井 孝雄 0円
 12番 南雲 正 60,000円

その他

・ 県町村議会議長会が2月に「政務活動費使途に関する指針」の改定を行った。

選挙後に湯沢町議会の基準の見直しを行う。

5月2日 第5回

初議会（臨時会）の運営の方法

議長・副議長選出のための協議を実施。

協議の結果

- ・ 議長は1名の希望者、南雲正議員
- ・ 副議長は1名の希望者、白井孝雄議員

本会議において指名推薦することに決定。

- ・ 議選監査委員は1名の希望者、岸野雅人議員

議会から推薦することに決定。

各委員の決定

3 常任委員会、議員の所属を決定。

○ 総務文教常任委員会

- 飯田 正義、水谷 幸乃
- 南雲あや子、渡辺 千恵

南雲 好幸、白井 孝雄
 南雲 正、田村 計久

○ 生活福祉常任委員会

水谷 幸乃、南雲あや子
 南雲 好幸、並木 利彦

高橋 政喜、岸野 雅人
 宮田眞理子 南雲 正

○ 産業建設常任委員会

飯田 正義、渡辺 千恵
 並木 利彦、高橋 政喜

岸野 雅人、白井 孝雄
 宮田眞理子、田村 計久

5月10日 第6回

正副議長の選挙

立候補が複数の場合には、無記名投票による選挙で決定。

立候補が1名の場合には、立候補予定者について「議員全員の賛成」をもって、指名推薦できるため、

- ・ 議長1名の希望者、南雲正議員
- ・ 副議長1名の希望者、白井孝雄議員

であり全議員に諮った結果、本会議において指名推薦に決定。

5月10日 第7回

議会議員の請負の状況の公表に関する条例及び施行規程

令和4年12月地方自治法の一部を改正する法律により、議会の議員に係る請負に関する規制の明確化及び緩和がなされた。

総務大臣から「議会運営の公正、事務執行の適正が損なわれることがないよう、地方公共団体に対し請負の概要など一定の事項を議長に報告し、当該報告の内容を議長が公表すること」との助言がなされた。

湯沢町議会においても、条例等の定めるところにより透明性を確保するための取り組みが必要。

議員活動量調査

議員のなり手不足が全国的な問題になっており、その大きな要因の一つとして町村議員の低額な報酬があげられている。現在の報酬額は、昭和53年モデル（首長の給料月額額の30%）が採用。既に45年以上が経過し、議員定数が減員する中で、議員一人ひとりの活動量（日数）との齟齬が出ているとの指摘もある。

議員一人ひとりの活動量（日数）を調査し、首長の活動量（日数）と比較することで、その割合を基に住民と向き合い適正な報酬水準についての議論するための資料としたいが。調査について、引き続き検討することとなった。

議会活動日誌

- 4月4日 新潟県町村議会議長会 正副会長会議及び議長会議
- 6日 第3回議員全員協議会（政務活動費使途報告会）
- 10日 湯沢小学校入学式（午前）
湯沢中学校入学式（午後）
- 11日 議会広報常任委員会
- 17日 議会広報常任委員会
- 24日 議会広報常任委員会
- 27日 例月出納検査 監査委員
- 28日 魚沼地域特別養護老人ホーム組合監査（八色園）
- 30日 第27回越後湯沢全国画展表彰式
- 5月2日 新任議員打合せ
- 5月2日 第5回議員全員協議会
- 10日 第3回臨時会（初議会）
- 12日 議会写真撮影及び新任議員作業服合わせ
- 14日 湯沢町消防団春季消防演習
令和5年スプリングセレモニー（南魚沼市立総合支援学校）
- 17日 湯沢南魚沼道路整備促進期成同盟会 監査
- 18日 湯沢町商工会通常総代会 懇親祝賀会
- 18日 新潟県町村議会議長会新任議員研修会（新潟県自治会館）
南魚沼地域広域計画協議会 監査
- 22日 令和5年度街づくり研究会通常総会及び懇親会
新潟県町村議会議長会 正副会長会議
- 23～24日 全国町村議会議長会及び新潟県町村議会議長会 正副議長

十日町市との境界問題の裁判

町顧問弁護士が、長谷川均弁護士から鶴巻克恕弁護士、鶴巻浩憲弁護士、秦慶子弁護士に変更になった。控訴以降は、鶴巻浩憲弁護士、秦慶子弁護士が担当する。

町長から判決内容について話があり、今週中に控訴することを正式に表明した。また、控訴費用については、6月21日の本会議にて追加議案として補正予算（第3号）上程をする旨、話があった。

Q 顧問弁護士は、同じ事務所なのか。

A 皆さん鶴巻克恕弁護士事務所に所属している。

Q 鹿飛橋はどちらになるのか。また、トレッキングコースへの影響は。

A 鹿飛橋は十日町市に入るが、トレッキングコースは現在栄太郎峠を使用しているため、湯沢町となる。

Q 控訴では、どのような主張をしていくのか。

A 今後の裁判に差し支えるので回答を控えたい。

Q 控訴は何処に行うのか。

A 東京高等裁判所に控訴する。

境界問題の裁判

湯沢町の主張

B ▶ A ▶ C

十日町市の主張

D ▶ A ▶ E

判決

B ▶ A ▶ E



30日	28日	27日	23日	22日	21日	18日	17日	13日	12日	11日	9日	6日	3日	6月2日	31日	30日	29日	26日	
新潟県後期高齢者医療広域連合事業説明	湯沢町地下水対策委員会例月出納検査 監査委員	魚沼地域特別養護老人ホーム組合例月監査（八色園） 随時監査（工事関係） 監査委員	生活福祉常任委員会 管内外視察（まきはたの里・あさひばら）	湯沢町地下対策委員会例月出納検査 監査委員	令和5年度南魚沼市消防審議会及び懇親会（南魚沼市消防本部）	令和5年度湯沢町南魚沼市合同山岳遭難救助隊訓練及び懇親会（旧神立小学校・トレッキング湯沢1）	令和5年度湯沢町南魚沼市合同山岳遭難救助隊訓練及び懇親会（旧神立小学校・トレッキング湯沢1）	第3回定例会（会期9日間）大源太第1号砂防堰堤補強工事竣工式	議案勉強会	競技会	議会広報常任委員会	令和5年度湯沢町ポンプ操法競技会	議会運営委員会	議会広報常任委員会	新潟県議会議員会令和5年度第1回臨時総会（新潟県自治会館）	新潟県議会議員会令和5年度第1回臨時総会（新潟県自治会館）	新潟県議会議員会令和5年度第1回臨時総会（新潟県自治会館）	新潟県議会議員会令和5年度第1回臨時総会（新潟県自治会館）	研修会（東京国際フオーラム・皇居参観） 産業建設常任委員会 魚沼地域特別養護老人ホーム組合監査（八色園） 例月出納検査 監査委員 総務文教常任委員会 生活福祉常任委員会 一般社団法人湯沢町観光まちづくり機構令和5年度定時社員総会懇親会

ご意見をお寄せください

湯沢町議会は、みなさまからのご意見・ご提案をお待ちしております

お寄せいただいたご意見は、今後の議会だよりづくりの参考にさせていただきます。

宛先 湯沢町議会事務局

郵送 〒949-6192 湯沢町大字神立300番地

FAX 025-784-3510

Eメール gikai@town.yuzawa.lg.jp

f http://www.facebook.com/yuzawamachi.gikai/

- ご意見は300字程度にまとめてお送りください。
- ご住所、氏名（実名）、年齢、性別、電話番号を明記してください。
- お寄せいただいたご意見・個人情報は議会内で厳重に管理し、目的以外での使用はいたしません。
- ご意見の内容にかかわらず、個々の回答は控えさせていただきます。

議員は、湯沢町議会の常任委員会委員の他、広域的な役職も担っています。

●選挙により選出

新潟県後期高齢者医療広域連合議会議員	岸野議員
魚沼地域特別養護老人ホーム組合議会議員	宮田議員

●選任により選出

南魚沼地域広域計画協議会委員	渡辺議員、並木議員、副議長、議長
南魚沼市消防審議会委員	飯田議員、南雲（好）議員
職業訓練法人 南魚沼職業能力開発運営協会理事	飯田議員
一般国道17号湯沢南魚沼道路整備促進期成同盟会会員	並木議員、高橋議員、宮田議員、副議長、議長
一般国道17号新三国トンネル開削促進期成同盟会理事	産業建設常任委員会全委員、副議長、議長
国道353号県境開設促進協議会理事・監事	産業建設常任委員会全委員、副議長、議長
一般国道353号十二峠新トンネル開設期成同盟会理事	議長
一般国道353号改良整備促進期成同盟会監事	議長
上越魚沼地域振興快速道路建設促進期成同盟会会員	議長
上越魚沼地域振興快速道路十日町・六日町間整備促進連絡協議会会員	議長

●推薦により選出

・湯沢町民生委員推薦会 委員	南雲（あ）議員
・湯沢町景観づくり委員会 委員	宮田議員、田村議員
・湯沢町青少年問題協議会 委員	水谷議員
・湯沢町都市計画審議会 委員	田村議員、副議長
・湯沢町地下水対策委員会 委員	渡辺議員、田村議員

編集後記

今回初当選しまして議長をはじめ、先輩議員の皆さん、町長や執行部の方々と湯沢町が歩んできた歴史や地域課題等を教えていただく毎日です。感謝申し上げます。

新型コロナウイルスによって3年間という長きに渡る期間、生活や活動の制限があり、地域住民の方々は勿論ですが、議員活動も多く制限があったと伺いました。行政や議会という取っ付きづらく、町が何を目指し、何処に向かっているのか、その中で議員はどういったことをやっているのか、中身が見えづらいように感じています。

今回女性議員が4名、30代議員が2名という新しい議会となりましたので、まずは表紙を議員集合写真でスタートし、次回以降の議会だよりでは広報・広聴の観点としても、地域住民の方々が町政に関心を抱いてもらいやすいような、「議会だより」を目指して参ります。今号も最後までお読みいただき、ありがとうございます。

議会広報常任委員会

広報委員 飯田 正義

委員長 南雲 好幸
副委員長 水谷 幸乃
委員 飯田 正義
委員 南雲 あや子

並木 利彦
渡辺 千恵